

Nyonyum 13号

By JICA-VOLUNTEER DAISAKU TAKAGI



協力隊活動 1 年が経過～活動成果と今後の展望を報告

協力隊活動が1年を経過し、折り返しとなりました。3月15日(木)に、JICA カンボジア事務所にて報告会が開催され、この1年間の活動の成果と課題について報告を行いました。今回、昨年同時期に派遣された隊員 10 名と 3 月で活動を終える隊員 1 名が活動報告を行いました。

- 私の報告概要 -

【協力隊活動の目標】

新しく策定された「指導書」に基づき、生徒の意欲を引き出し運動の楽しさを味わえるような授業を行うことのできる教員、学校を増やす

【1 年の成果】

- ・一教員として 11 クラスでの単独授業を実施 (1 年目は、「やって見せて」を体現)
- ・配属先への鉄棒の設置支援とモデル授業の実施
- ・現地 NGO ハート・オブ・ゴールドとの連携協力

【今後の展望・課題】

- ・チームティーチングによる先生方の指導力向上
- ・用具や設備不足の解消に向けた取り組み
- ・鉄棒授業動画の製作と発信
- ・配属先近隣校との連携協力 など



現在、カンボジアでは、25 名の協力隊員が活動しています。各地で活動する隊員の奮闘ぶりに触れ、新たなエネルギーやアイデアを頂きました！派遣前にお世話になった JICA 本部や、二本松・駒ヶ根訓練所、また現地で共に活動をする NGO の方々なども、オンラインにて参加して頂きました。



1 年に 1 度の中高校生スポーツの祭典

3月27日～31日の5日間の日程で、州の中高校生スポーツ大会(日本の高校総体都道府県大会に該当)が、任地スパイリエンで開催され、陸上、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ペタンク、卓球などの各種競技で熱戦が繰り広げられました。カンボジアには、部活動のような日常的な放課後活動はほとんどありません。各学校は、大会の数週間前に、各種競技のメンバー募集を行い(必要に応じてセレクションを実施)、大会に向けた練習を行います。今回、約3週間に渡って、現地の先生と共に、配属先・スパイリエン高校の男子バレーボールチームのお手伝いをし、バレーボールを通じて、生徒たちやコーチの先生、応援団と共に、熱い感情の共有をさせて頂きました。

希望者約 30 名から選ばれた選手たち。



たった3週間、かつボールは4個、どのようにチームを作っていくのだろうか…そんな想いは杞憂でした。選手たちは、日々の練習を心から楽しみ、また大会での優勝を目指し、どん欲に練習に取り組んでいました。もともとの潜在能力もあり、チームはみるみると成長。彼らの練習に取り組む姿勢を見て、とても清々しい気持ちになりました!!!



連日 30 度を超える炎天下の中での試合。
チームは、決勝戦でフルセットの激闘の末に敗れ、惜しくも第 2 位。

試合には多くの観客(友人、近所のおじさん、子ども達など)が集まり、選手たちの好パフォーマンスに大熱狂していました。特に、子ども達の高校生のお兄さんたちに向けた羨望の眼差しはとても印象的でした。子どもたちがサインを求めるといった現象も(笑)。この憧れが、指導者や練習環境が十分に整っていなくても、未来のバレーボールが育っていく原動力になるんだろうな、感じました。



カンボジアの新年「クメール正月」

第8号でも取り上げたカンボジアの3大行事の一つ『クメール正月』。カンボジアでは、4月14日(金)に新しい年「兎年」を迎えました。任地スパイリエンで体験した日本とは異なるお正月の過ごし方を紹介します！

お正月で見つけたこれ、な～んだ？

大きなツボ、何に使うの？

最後まで読むと、答えがわかります！



店の前にぶら下げられた星の飾りは、何？



どうして、水鉄砲がこんなに売られているの？



4/4 ポンサラー

『クメール正月』に先立ち行われたスパイリエン高校での新年に向けた行事。



約3週間前から、休み時間に、校庭で伝統的な遊び(写真1枚目)を楽しみ、また行事に向けた準備(装飾の制作、伝統舞踊や楽器の練習など)をする光景が見られました。当日は、お坊さんの説法(写真2枚目、生徒たちも健康や幸せ、学力向上を祈ります)や伝統儀式が行われ、また出店が並び、各教室では宴会(写真3枚目、家庭から手料理を持ち寄り、焼肉、鍋をしたり、音楽を流して踊ったり)で大盛り上がり!!そして正午からは、メインストリートでの水浴びをしながらのダンス。ものすごい熱狂でした!!!

4/14-16 クメール正月

「伝統」と「流行」が融合された「静」と「動」のお正月。



正月1日目に、天からデーヴァダーという女神様が降りてくると伝えられ、各家庭では玄関前に祭壇やお供え物などを用意し(写真1枚目)、16:00にお線香をあげて女神様をお迎えます。星の飾りは、女神さまが天から降りてくる際の目印です。お寺へのお参りも欠かせません(写真2枚目、大家さん親戚一同でお寺へ)。その後は親戚が集まっての宴会。孫たちが祖父母にお金を渡す光景がありました(写真3枚目)。期間中、町内会のお祭りにも足を運ぶことができました。伝統的な遊び(写真4・5枚目、ツボ割りや粉吹きなど)で盛り上がり、やはり最後は円になってのダンス、夜が更けるまで踊り続けていました。



クメール正月最大のイベント『ソングラン』。メイン会場(写真1枚目)では、6台の消防車の放水の中でのダンス!!各種遊び(写真2枚目)も盛り上がり、街中では、水鉄砲、ホースやバケツでの水の打ち合い - ツボ(写真3枚目)は水をくむためのモノですね - 突然のシャンプーがあったり、とにかく圧倒されっぱなしの激しいお祭りでした。すいません、この紙面だけでは、その様子を伝えきれません

『ソングラン』とは？

もともとは、互いに水を掛け合うことで新年を迎えたことを喜びと共に、長かった乾季が終わりまもなく到来する雨季の豊かな降雨を願う儀式であったといえます。しかし近年では、4月は1年で一番暑い時期でもあり、水や粉をかけ合う一種の娯楽イベント(発祥はインドやタイ)として賑わいを見せています。全国各地で行われ、任地スパイリエンには、3日間で、全国第4位の約28万人もの人々が集まりました。激しさのあまり、外国人観光客が水鉄砲で目を負傷したとのニュースが流れていました。

Insterglam でも、活動の様子を紹介しています。興味のある方、daisakutakagi で検索をお願いします。